

大道芸アジア月報 2021年11月

郵便振替=00100-3-749814 名義「上島敏昭」
vol. 32, no. 11
編集・発行人 上島敏昭
〒165-0025 東京都中野区沼袋2-31-2
春山荘・東

■大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

- 大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaiyukan.com/thv/marketplace/>
- 大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>
- 名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>
- しずおか大道芸の街 <http://shimaruikai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>
- ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>
- お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 www.studioeggs.com
- 東京都へブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/
- 仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※新型コロナウイルスの蔓延状況、大きく変化し、活動が再開はじめています。確認の上、お出かけください。

★今月の大道芸公演

△【延期】大道芸ワールドカップ in 静岡 <https://daidoge.com/>

●10月30（土）～11月3（水）

△第3回日本大道芸フェスティバル（チケット制） <https://daidougei.net/> ○あいち健康の森（愛知県大府市、JR 東海道線「大府駅」下車）

●11月6（土）7（日）10：00～17：00 ごろ

Izuma、ideo 2、ストリートドラマー リエー、SPIN stAr、SAMESAME、ゼロコ、ファニーボーンズ、Mr.BUNBUN、山本光洋、吉川健斗、りずむらいす、11.6のみ：オーバートーン、桔梗ブラザーズ、サンキュー手塚、Ray、11.7のみ：エル、clown ものまる、Tsirk Abby、ロボットのぞみ

参加費：1日¥1000/名（小学生以下無料）※チケットはHPより購入

△シズオカ×カンヌウィーク 2021 秋 SDGs シネマ&ヴォードヴィルフェスティバル <https://www.facebook.com/shizuokacannes>

●11月6（土）7（日）○清水マリンパーク・エスパルスドリームプラザ

海辺のヴォードヴィル

ひこひこ、clown bomb、Syan、富田晶子、蜜咲ばう、meloDUOs、プリコロハウス、メランコリー鈴木、パピコ・グイランド、三雲いおり、ココナッツ山本、ユキニコアキラ、フェイスペインター☆ミホウ、アコる・デ・ノンノン

△さいき大道芸フェスタ <https://twitter.com/saikibigbang/status/1443880492307140609>

●11月6（土）7（日）10：00 より ○さいき城山桜ホールほか

渡辺あきら、KANA∞、BOX ACTOR YAYA、望月ゆうさく、SEOPPI、大道芸人ひろと、WAZUMA、ちんどん鈴乃家、マスク・マンマン、松本かなこ、アストロノーツ Mark2、ガンジスインダストリー、カナルペキノワ、あきらとひろと、ほか市民パフォーマー

△ならパフォーマーグランプリ 2021 <https://stagem.net/npg2021/index.html> ○奈良健康ランド（近鉄天理線「二階堂駅」下車）

●11月7（日）11：00～17：00

X-TRAP、くす田くす博、NARI、星丸、叶音、ピエコロ、吉田さんちの大道芸、RAY、しげきひろし、勇登、AKI、ハルシパフォーマー AKI、ローズ&MOMO、サックキュー手塚、魔ほうの愛華、CottonMerry、ジャグラーみぞん、ZANGE、ナニコレ?劇団

前売券：大人¥1500（高校生以上）、小人¥500（小学生以下） 当日券：大人¥1800、小人¥600

△【中止】にぎわい爆発！あつぎ国際大道芸 2021 ○本厚木駅など

●11月13（土）14（日） <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/soshiki/shogyonigiwaika/2/24509.html>

△かおの屋のスタチュー作品を並べてみていただく会 <https://twitter.com/araikumakireiz1/status/1448579281915826176>

●11月13（土）13：00～17：30 ○高田馬場 ときわ座

音姫金魚のパフォーマンス有

△第2回たかつき大道芸グランプリ <https://www.seibu-la.co.jp/park/ama-sitepark/event/> ○高槻市安満遺跡公園 SAKURA 広場

●11月21（日）10：00～15：45

ドラマチック・ガマン、NEWTRAD、Sugar、LEO、マジ大道芸人 HAMAR、Mr.↑YU↓、けん玉パフォーマーたいが、フリースタイラーNARI、アスタリクスノヴァ、ゲスト：豊来家幸輝、ROBIN&RIE

△隅田川水辺フェスティバル大道芸 2021 <https://www.facebook.com/sumidagawa.cutclub> ○白鬚橋上流テラス

●11月28（日）11：00 から日没ごろ

出演者未定

△志免祭～国際コメディシアターフェスティバル～2021 <https://h732.net/simesai/> ○福岡県志免町

●12月12（日）19（日）

「シ組」12/12・11：00 ケッチ、芸人まこと、こんぺい党、GABEZ、CHISHA、なるせ女剣劇団、ユキニコアキラ

「メ組」12/12・15:00 加藤みきお、清水宏、高取優耶、どん・ぺんた、彦一団子、めりこ、YAYA

「サ組」12/19・11:00 加納真実、シルヴブレ、カナルペキノワ、バーバラ村田、TEN-SHO、アダチ宣伝社

「イ組」12/19・15:00 サムくん&メロンちゃん、マジジャン RINTARO、望ノ社、ダメジャン小出、三雲いおり、Mr.BUNBUN

若林正の

食って極楽

再び、高田馬場のランチ

・・・本場四川ダイニング「座・麻婆唐府」

いよいよ来週から出演舞台の幕が開くので、このコラムも新しい店を開拓している時間が無い。飲食店の時短制限は解除されたので、新規開拓はこれからということで、今回は最近取り上げた店の再放送、とは言えついこないだ昼飯を食った時のものです。

高田馬場駅から徒歩3分ほど、駅前の大通りを小滝橋方面に進み、少し左に入ったところ。店は広くて穴場っぽい。ランチは¥780で、店名の麻婆豆腐を始め色々種類がある。

今回写真も載せたけど、品数が多くて、サラダに煮卵、辛い和え物が取り放題、メシはお代わり自由！味もまあまあで腹一杯になれる。

この日は奴豆腐、餃子がついて、和え物は豚耳に切干大根の辛子合え。

料理は鶏肉と南京豆の辛子炒め。客はけっこう中国の若者が多くて、中国語が飛び交っている。近くに来ることあればランチに是非！



○もう10回ぐらい行った度=8ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

☆その360

平成大道芸年表(19) 2007年

上島敏昭

★防衛省誕生。消えた年金。安倍晋三・内閣投げ出し。食品偽装あいつぐ。

1月1日附で自衛隊を統括する防衛庁が防衛相に昇格した。自衛隊の海外派遣と同様の大問題が、知らないうちに成立していた。2月に社会保険庁が担当する年金記録に5000万件以上の不備が発覚。あまりの杜撰さに国民の怒りが爆発し、7月の参院選で自民党は歴史的大敗、与野党逆転となり、これが原因となり9月には、突然、安倍首相は総理を辞任、官房長官だった福田康夫が政権をひきついだ。

1月に不二家の賞味期限切れ食材使用が明らかとなり営業停止。結果的に山崎製パンの傘下となる。これが引き金となったのか、ミートホープの偽装牛肉、ニセ名古屋コーチン、白い恋人、赤福、吉兆……と次々に食品偽装が明らかになった。

5月には東証1部企業の利益がバブル期を超えると発表されたが、いずれの企業も先行きに不安を隠さなかった。実際、米国でサブプライムローン問題がクローズアップされ、8月には世界同時株安に陥る。

あまり明るいニュースがないなか、京都大学のグループが、ヒトの細胞からiPS細胞の作製に成功と発表し、日本の学術分野でのレベルの高さを示した。

7月16日、熊谷と多治見で気温40.9°を記録。74年ぶりの猛暑となった。くしくも同日、新潟県中越沖地震が発生したことも忘れがたい。

★赤ちゃんポスト、「千の風…」大ヒット、吉本・東京制覇を完了

赤ちゃんポストは、諸事情により育てることができない赤ちゃんを、匿名で他者に預けるシステム。各国で制度化されているが、要するに「捨て子」なので日本では法律的にもむずかしい。この年、熊本市の慈恵病院が「このとりのゆりかご」という名称でこのシステムを採用して、賛否両論、喧々囂々の議論を巻き起こした。

長らくヒット曲らしいヒット曲が生れていなかったが、クラシック(テノール)音楽家の秋元雅史が歌った「千の風になって」が爆発的にヒットした。2001年にアメリカで話題となった詩を新井満が訳詩し、自ら曲をつけて歌っていたもので、新井、秋元以外にも何人かが歌っている。先年の紅白歌合戦で秋元が歌ったことで一般に知られ、火が付いた。

1980年の漫才ブームを契機に設置された吉本興業東京事務所は、その後、東京本社に格上げされ、テレビ・ラジオなどのマスコミを席卷していた。この年、新宿の小学校跡地を取得、新宿ルミネ、渋谷ヨシモト∞ホールにつづいて、この年、神田神保町にも劇場を開設して、お笑い界の全国制覇を達成した。

新しい劇場として、日比谷にシアタークリエ、池袋にあうるすぽっとが誕生した。また浅草に劇場建設嘆願運動が起こった。

★紙芝居に注目集まる。現代サーカスの紹介。大道芸人のソロライブ相次ぐ

この年の大道芸界では紙芝居の活動が活発だった。われわれ浅草雑芸団の主催した、7月の「新・紙芝居創世記」

公演、7月-9月の群馬県立土屋文明記念文学館「紙芝居がやってきた」展、同じく弥生美術館の「武部本一郎 紙芝居からSFアートまで」展、あるいは9月-11月、たばこと塩の博物館「昭和30年代物語」展など。さらに大阪の現役紙芝居師・鈴木常勝は『紙芝居がやってきた!』、『紙芝居は楽しいぞ!』を相次いで上梓して話題となった。そのうえ研究書として姜竣の『紙芝居と〈不気味なもの〉たちの近代』がダメ押しのように出版されるなど、ほとんど一年中紙芝居の話題でもちきりだった。児童文化・文学、大衆文化と検閲、都市と近代などなど、紙芝居は日本の視覚文化という以外にも、さまざまな視点からのアプローチが可能であることを示している。

「フェリア・ミュージカ」という集団の「蝶のめまい」、武漢雑技団の「今・愛が舞う」、さらにシルク・ドゥ・ソレイユ「ドラリオン」など、西欧の現代サーカスの紹介も相次いだ。ダンス・パントマイム・サーカスの境界があいまいとなり、融合し始めているように思われた。また、ソーシャルサーカスという観点ではカンボジア・サーカス学校の公演も行われた。ただ「ドラリオン」以外は大衆芸能というより、かなりマニアックな公演であるのが、日本の現状であるのも事実である。

大道芸パフォーマーのライブ公演が増えてきた。ダメじゃん小出の「黒く塗れ」「負け犬の遠吠え」はシリーズ化し、山本光洋、サンキュー手塚、三雲いおり、クラウン YAMA、シルヴブレなどが舞台でも成果を上げた。

祭の神輿会。その会長の約7割が組員で、祭が暴力団の資金源という新聞記事には驚かされた。

平成大道芸年表:2007年(平成19年)

政治・経済・事件・世相	大衆芸能・大道芸関係
	1.3 新春幕張大道芸フェスティバル・幕張イトーヨーカ堂
	1.3 向島・はるこま七福神めぐり
	1.6-7 第4回さいたま新副都心大道芸フェスティバル
1.9 防衛庁が防衛省に昇格	1.8 ヘブナーアーティスト in 渋谷
1.11 不二家、消費期限切れ材料を不正使用/1.12 天声人語/1.13 社説	1.13 説経瑠璃鑑賞会 成増アクトホール
	1.18-19 現代サーカス「フェリア・ミュージカ」川崎クラブチッタ
	1.19-28 武漢雑技団「今、愛が舞う」東京国際フォーラム
	1.20 文楽研修生(国立劇場)ゼロに。本年、緊急募集/2.17 伝統芸能大胆なメディア戦略が必要(寄稿・岡村志嘉子)
	1.20 新春の祝福芸「えびすまわしと春駒」リバティおおさか
	1.21 フジTV系「あるある大事典」で捏造、納豆ダイエット。番組打ち切り
1.26 雑誌「演劇界」一時休刊	1.27 宝塚が記録した民俗芸能記録、DVD化して一般公開
1.28 「女性は産む機械」柳沢厚労相が発言/1.31 社説	1.27-28 国立劇場民俗芸能「阿波の芸能」阿波木偶箱まわし
1.30 NHK番組で「戦時性暴力」放送前の改変、NHKに賠償命令(政治家の圧力)	
	2.7-5.6 シルク・ドゥ・ソレイユ「ドラリオン」原宿ピクトップ
	2.16 国際民俗芸能フェスティバル ブータン、アイス、ロシアほか 国立劇場
2.17 社会保険庁で5000万件以上の年金記録不備が発覚	2.16-17 四十雀(ダメじゃん小出、ジャグラー健三郎、はつとジャグラーJay、三雲いおり)内幸町ホール
2.18 第1回東京マラソン開催。3万人が快走	2.23-25 マイムひとり旅・高橋徹ソロ公演 スタジオP.A.C
2.22 神社、全国八万社、約1割が八幡社、「全国神社祭祀祭礼総合調査」	2.24 見世物学会特別企画・西村太吉 見世物の地下水脈を語る 浅草木馬亭
2.24 社説:赤ちゃんポスト /4.5 熊本県の病院に設置 /8.31 模索つづく	2.26 三遊亭円楽、引退表明 /2.27 天声人語
	3.1-2 パオパオ堂・裏カーニバル 門仲天井ホール
3.3 志賀島の「金印」偽造説	3.3 府中郷土の森・梅まつり「はるこま」門付けと奉納芸能
	3.6-11 ダンス・パントマイム・クラウンのタベ シアターX 3.6-7 ダンス・雨月遊魂(「新釈雨月物語」を読む) 3.9 山本光洋「かかしになるために」 3.10-11 クラウン・ペケ ソロ公演
	3.8 森進一「おふくろさん」追加歌詞は著作権侵害か
	3.10-11 ハッピータイム(クラウンYAMA、小暮絹代) ブーク人形劇場
3.18 ICカード乗車券PASMOサービス開始	3.16-17 汎マイム工房トライアル2007 スタジオP.A.C
3.20 小学校の教科書から「旧石器・縄文」消える(寄稿・西谷正)	3.23 ダメじゃん小出の黒く塗れ 横浜にぎわい座
3.30 東京ミッドタウンが開業	3.30-4.1 マイムがヒルズを笑わせる 六本木ヒルズ
4.3 TDL+シー、年間入場者最多の2581万人、前年比4.2%増	4.5-8 時間!時間!加納の小一時間(加納真実) 新宿ゴールデン街劇場
	4.6-8 六本木ヒルズ春祭り 六本木ヒルズアリーナ
	4.6-8 第53回全国チンドンコンクール(富山市)
4.11 中国温家宝首相来日、「戦略的互惠関係」を表明	4.8 宮本常一誕生100年、府中郷土の森博物館で特別展
4.17 伊藤一長長崎市長、射殺され死亡	4.21 平井澄子記念演奏会「新曲さんしょう太夫」 労音車人形の会 浅草公会堂
4.23 電子マネー「nanaco」サービス開始	4.21-22 ヨコハマ・野毛・みなとみらい大道芸
	4.25 日本レコード協会等がSPレコードをデータベース化、歴史的音源の「カゲ」事業
	4.26 「天覧劇」120年ぶり再現。各国大使招き、井上馨邸跡地 4.25
	5.2 マジシャンが手品の種明し番組に抗議、TV局を提訴 /5.4 天声人語
	5.3-5 六本木ヒルズ・ワールド・ストリートパフォーマンス
5.6 大阪エキスポランド、コースター脱輪、女性死亡/8.10 営業再開	5.4 下町風俗資料館で紙芝居、森下正雄さん
5.8 ビルの屋上「空中庭園」5年で10倍に	
5.9 ディズニー、2010以降に屋内型エンタ施設計画。首都圏外に	
	5.11-12 planB /5.19 静岡7代目21 牛ヶ丘Z(シルヴブレ、彦一団子、Mr.BUNBUN)
	5.12 大衆芸能の世界 シンポ・日韓の大衆芸能比較 紙芝居、絵解き、説経節 明治大学アカデミーホール
5.14 国民投票法、成立	5.12-13 日立国際大道芸
5.16 東証上場企業決算 バブル超す業績、先行きには慎重	
	5.21 朝日記事:紙芝居師、24歳IT系、佐々木遊太
	5.22-23 東京モザイク区(山本光洋、ダメじゃん小出)シアターIWATO
5.28 松岡農水相が議員宿舎で自殺、疑惑の渦中に	5.28 カンヌ映画祭で河瀬直美監督「殞の森」グランプリ
5.29 横浜・こどもの国入場者、1965年以降3500万人	5.29 目白バ・ロック音楽祭、歴史的建造物でコンサート

	5.29 ミスユニバース世界大会で森理世さん優勝、59年児島明子さん以来
	5.31 生き人形、岡本黄石像、世田谷区立郷土資料館で公開
	6.4 路上詩人北谷隆策さん、中野区野方のアールスペースで個展
	6.11 ヘブンアーティスト、上野公園争奪戦
6.14 英会話学校NOVA、違法行為の山 /6.15 天声人語 /10.26 NOVA 経営破たん	6.12 清水区で「次郎長フェス」、次郎長一家継承で企画延期
	6.15-16 堀の外のジャグリング#2 門仲天井ホール
	6.15-16 内幸町ホール /6.22-23 大阪ゑびす座 ダメじゃん小出 負け犬の遠吠え
6.20 食品加工会社ミートホープの偽装発覚（コロケに偽ミンチ）	
6.20 渋谷区松濤の温泉施設で爆発、3人死亡	
6.28 石見銀山、世界遺産に	
6.29 元公安長官緒方重威、朝鮮総連本部土地売買にかかわり詐欺で逮捕	
7.1 久間防衛相「原爆投下しようがない」	7.1 説経節—哀切なる弾き語り（若松若太夫）東村山ふるさと歴史館
	7.3 節談説経布教大会（廣陵兼純、松島法城、佐々木高彰、茂利真正、藤野宗城、谷口壘照）築地本願寺
	7.4 金徳洙サムルノリ、日本ツアー
	7.6 記事：松任谷由美「ユーミンスペクタクル・シャングリリアⅢ」
7.7 笑い映画の複合施設「神保町シアター」吉本と小学館提携	7.7-9.30 武部本一郎展：紙芝居からSFアートまで 弥生美術館
	7.7-8 新・紙芝居創世記 新作街頭紙芝居「蛇蝎姫と斬鬼丸」（仙台紙芝居プロジェクト、神田陽二）、「黄金バット」（森下正雄）、「江戸写し絵」（みんわ座）、のぞきからくり 企画・主催：浅草雑芸団、浅草木馬亭
	7.7 吉本、新宿の廃校を東京本部に
	7.7 〈東京の夏〉音楽祭、ハイチのブードゥー音楽 7.13-14 草月ホール
7.13 公共施設に命名権活用、財政難で	7.13 神輿集団、代表の7割が組員、三社祭が資金源
	7.13 浅草オペラの志、復興。代々木上原けやきホール 7.19-20
7.16 新潟県中越沖地震。死者15名。東電柏崎原発で火災発生	7.14-9.2 紙芝居がやってきた展 群馬県立土屋文明記念文学館
	7.21-8.31 日テレ・アート・DAIDOUGEI 汐留・日本テレビ周辺
7.30 参院選、自民大敗。民主、第一党に	7.27-29、8.2-16 カンボジアサーカス学校日本公演 7.27-29 沖縄サマーフェスタ、8.2-3 大宰府市中央公民館、8.6 広島市青少年センター、8.7-8 京都府民ホール、8.9-10 クオレ大阪中央、8.11-12 白州アートキャンプ、8.14 群馬県みどり市笠懸文化会館、8.15-16 東京都児童会館
8.9 サブプライムローン問題で、世界同時株安	9.8 岡林信康、日比谷野音で「狂い咲きコンサート2007」
	8.14 太神楽曲芸協会70周年記念会 国立劇場
	8.14 鹿児島市民文化ホール /8.16 福岡市立少年科学文化会館 コメディ・クラウン・サーカス（クラウンファミリー プレジャーB）
	8.14 さいたま芸術劇場「見世物祝祭劇 エレンディア」（ガルシア・マルケス作、蜷川幸雄演出）
	8.16-19 天保山ストリートパフォーマンス・フェスティバル 大阪天保山マーケットプレイス
	8.22 喜劇人の碑に「関敬六」「谷幹一」の名前刻む
	8.22 青山太鼓見聞録・TAIKO JAPAN2007
8.23 ヒトとゴリラの分岐、1200万年前	8.24 林英哲、国立劇場、9.1-2
	8.25 紙芝居で「まちの民話」すぎなみ昔話紙芝居一座
8.31 ゆとり教育、岐路に	8.31 全国ちんどん博覧会 9.2、上野、水上音楽堂
	9.1 第7回さっぽろパフォーマンスカーニバル 「だい・どん・でん」
	9.2 第5回全国ちんどん博覧会 上野・水上音楽堂 /8.31 ちん博ブレイブ（浅草 KUROWOOD）、9.1 下町の音風景（浅草ヨロー堂）
	9.3 ヘブンアーティスト公開審査 東京都庁広場
	9.4 プッチャリン中島、大けが。浅草の店主ら手術費工面 /9.6 浅草の中華店でお見舞いライブ /10.27 復活公演
	9.7 第10回ながの大道芸フェスティバル
	9.5 クモ男・アラン・ロバール、モスクワの高層ビル242メートル登頂
	9.6 笑うエビス-福神の図像学 阿波木偶箱まわしを復活する会 武蔵野美術大学学術資料図書館
	9.11 演劇の街・池袋で演劇祭、新劇場「あうるすぽっと」開場
9.12 安倍首相、突然の辞任表明	9.11-11.11 リバティおおさか「万歳展」万歳芝居復活
	9.15-11.11 昭和30年代物語：街角のたばこ屋さんを探して たばこ塩の博物館 /10.13-14 紙芝居（森下正雄、田中正巳）

9.14 月探査衛星「かぐや」打ち上げ	9.15 国立文楽劇場「祈りのかたち」（琵琶盲僧、オラショ、一向上人開山勇躍念仏）
	9.15 中学校必修に武道とダンス
	9.16 ひと： 在日個人史を一人芝居に宗富子（ソウ ブジャ）
	9.18 ひと： 水俣病の一人芝居「天の魚」を継承、川島宏知
	9.18 窓： 沖縄の証言を一人芝居「赤いブクブク」北島角子
9.22 登録有権文化財に前橋の電動木馬、「もくば館」	9.22 チベット伝承仏画の解説（ツェリン・ドルマ師、ほか）長野市西方寺本堂
	9.22-24 ジャパン・ジヤグリング・フェスティバル in 静岡
	9.23 第10回九州大道芸まつり in 宗像
	9.24 第9回月潟大道芸フェスティバル
9.26 福田康夫内閣成立	9.29 ダメじゃん小出の黒く塗れ 横浜にぎわい座
10.1 緊急地震速報の運用開始	
10.1 日本郵政グループ（4事業会社）発足	
10.2 ニセ名古屋コーチンは全体の約2割	10.2 神田芸祭、テーマは「昭和・人情・路地・オヤジ」出世不動通と旧今川中学校
10.4 洛中洛外図、歴博甲本、作者は狩野元信	10.3 横浜で「大野一雄フェス2007」10.5-21
10.5 歌麿の肉筆画、栃木市の民家で発見、廃品業者より購入	10.6 第7回若松若太夫独演会 板橋区郷土芸能伝承館
	10.6 吉本、都内に4つの劇場、首都攻勢
	10.6-7 千住エキゾチックフェア
	10.6-7 東京・町田大道芸
	10.9 若村麻由美「平家物語」の語り芝居
	10.10 ギリヤーク尼ヶ崎青空舞踊公演 新宿・三井55広場
	10.11 大道芸人・雪次郎さん、夕張へ応援
10.12 赤福、消費期限を改ざん、/10.20 社説：赤福おまえもか	10.12 東京かわら版、400号超す
	10.14 両国からくり祭、両国シティコア広場、10.13-14
10.18 ムツゴロウ王国「東京」、11月に閉園	10.16-17 三雲いおり一人喜劇「ヘルサイドテラス203号の家族」シアターX
	10.20-21 第30回名古屋・大須大道町人まつり
	10.20-21 東京・三茶 de 大道芸
	10.20-21 川越まつり（見世物「入方興行」）
	10.25 ひと： こどもたちにパントマイムとどける、村田美穂
	10.27 民謡酒場「追分」50周年、11.3に中野サンブラザで記念公演
	10.27-28 ヘブンアーティスト TOKYO 上野公園
10.29 「吉兆」菓子、偽装表示	10.28 ひと： 薬物依存症の一人芝居、内山正文
	11.1-4 第16回大道芸ワールドカップ in 静岡
	11.2 全国路上ライブ石野田奈津子さん、北とびあでコンサート
	11.10 三波伸介一座、浅草東洋館に出演
	11.10-11 OSAKAエンタフェス 天王寺公園ほか
	11.11、11.23 新宿花園神社西の市・見世物
	11.11 葛飾柴又寅さん記念館、10周年記念
	11.15 ブルーマングループ in 東京 12.1から六本木インボイス劇場で
	11.17 第9回見世物学会総会（平岡正明、与那原恵、田之倉稔、福田豊、坂入尚文）横浜・野毛「叶屋」
11.21 京大で人の細胞からiPS細胞の作製に成功と発表	
11.22 『ミシュランガイド東京』発売	11.24 全国民俗芸能大会 語り物（オシラ祭文、阿波たたら音頭、田原の祭文）日本青年館
	11.24 第18回地芝居サミット 渋川市赤城町 上三原田歌舞伎舞台
	11.26 遣隋使1400年。「楽劇 新伎楽」中国を巡演、アジアの仮面劇
	11.27 アートが地下空間に。胎内回帰、都市批判…
	11.29 劇団「お笑い浅草21世紀」結成10周年
	11.29-12.1 サンキュー手塚ソロライブ 銀座小劇場
	11.30-12.1 山本光洋「かかしになるために」 pInB
	12.1 歌垣、中国トン族招きサミット 12.8-9 國學院大
	12.2 路上で絵本読み聞かせ、「聞かせ屋」けいたろう
	12.5 江東街かどアーティスト、第2回目の募集
	12.6-16 回想 論壇 / 文芸 / 美術 / 映画 / 演劇 / 音楽
	12.6 流し、平塚新太郎、全国行脚50年、新宿荒木町
	12.7-8 ダメじゃん小出・負け犬の遠吠え 内幸町ホール
	12.7 浅草オペラ90年、「田谷力三物語」日本橋劇場、12.11-13

	12.8-9 とんちんかんサーカス (クラウンYAMA、小暮絹菅、まどりん) ブーク劇場
12.10 TDLで停電、25アトラクションがストップ	12.8 平常、手製人形と融合「星の王子さま」ブーク劇場 12.13-15
12.15 上野動物園モノレール、開業 50年	12.12 つきのみや神社十二日市「見世物」 さいたま市・調神社
	12.24 伊勢大神楽・増田神社奉納総舞 桑名・増田神社
	12.31 振り返る 2007
※この年のピック	
<p>10大ニュース：①安倍晋三、内閣投げ出し、②参院選で自民歴史的敗北、③年金記録5千万件が未登録、④防衛汚職で前次官逮捕、⑤各地で食品偽装発覚、⑥中越沖地震で死者11人、⑦「大連立」頓挫、⑧海自、インド洋から撤収、⑨国民投票法成立、⑩74年ぶりの猛暑</p> <p>ヒット商品：「ニンテンドーDS」&「Wii」、「PASM0」、プレミアム商品、「ピリーズブートキャンプ」、エコバッグ、デザインカフェ、メガマック、キッザニア東京</p> <p>流行語大賞：「(宮崎を)どげんかせんといかん」(東国原秀夫)、「ハニカミ王子」(石川遼)、消えた年金、そんなの関係ねえ</p> <p>今年の漢字「偽」</p> <p>野球 中日ドラゴンズ優勝</p>	<p>人間国宝に、宮菫千祿、野村万作、竹本綱大夫、鶴沢清治、杵屋巳太郎</p> <p>文化勲章に、茂山千作</p> <p>文化功労者に、谷川健一、仲代達也、塩野七生</p> <p>旭日小受章に、桂歌丸、道場六三郎</p> <p>紫綬褒章に、北大路欣也、市川正親、本條秀太郎、北山洋、市川団十郎、吉田旺、つかこうへい、村田喜代子、吉田都、大石芳野、加藤健一、中村梅玉、三枝成彰、橘芳慧、富司純子、弘兼憲史、五木ひろし、池澤夏樹</p> <p>芸術院賞に山本東次郎、中村翫雀(現・鴈治郎)</p> <p>芸術選奨文部大臣賞に、森山良子、根岸吉太郎、橘芳慧、勅使河原三郎、北川フラム</p>
<p>ベストセラー：『女性の品格』(坂東眞理子著、PHP新書)、『ホームレス中学生』(田村裕著、幻冬舎)、『鈍感力』(渡辺淳一著、集英社)、『日本人のしきたり』(飯倉晴武著、青春新書)、『新・人間革命 17』(池田大作著、聖教新聞社)、『田中有久子の造顔マッサージ』(田中有久子著、講談社)、『ハローバイバイ-関暁夫の都市伝説』(関暁夫著、竹書房)、『ポケットモンスター ダイヤモンド・パール公式全国大図鑑』(エンターブレイン)、</p> <p>映画 「パイレーツ・オブ・カリビアン/ワールド・エンド」(ゴア・ヴァービンスキー監督)、「ハリー・ポッターと不死鳥の騎士」(デヴィット・イエーツ監督)、「HERO」(鈴木雅之監督)、「スパイダーマン3」(サム・ライミ監督)、「硫黄島からの手紙」(クリント・イーストウッド監督)、「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド&パール ディアルガ vs バルキア vs ダークライ」(湯山邦彦監督)、「ALWAYS 続・三丁目の夕日」(山崎貴監督)、「西遊記」(澤田鎌作監督)、「武士の一分」(山田洋次監督)、「トランスフォーマー」(マイケル・ベイ監督)</p> <p>ヒット曲 「千の風になって」(秋川雅史)、「flavor Of Life」(宇多田ヒカル)、「蕾(つばみ)」(コブクロ)、「Love of sweet」(嵐)、「Keep the faith」(KAT-TUN)、「喜びの歌」(KAT-TUN)、「明日晴れるかな」(桑田佳祐)、「旅立ちの唄」(Mr.Children)、「関風ファイティング」(関ジャニ∞)、「weeeek」(NEWS)ほか</p>	<p>書籍 『韓国サーカスの生活誌』(林史樹著、風媒社)、『しょう太とねこのサーカス』(かわかみ美味子 ぶん え、大日本図書)、『パリ!サーカス!パリ!』(Mika Posa 文・写真；田嶋吉信 絵・デザイン、東京キララ社、三一書房)、『亡者のサーカス』(ローレル・K.ハミルトン 著；小田麻紀 訳、ヴィレッジブックス、ソニーマガジンス)、『ひな子ちゃん・曲馬団物語』(永島慎二著、小学館)、『写真集 大道芸』(梅野邦彦撮影、新風社)、『旅芸人がいた風景』(沖浦和光著、文藝春秋)、『おまかせモリス〜サーカスだんとかじのまき』(徳高順也作；にしかわ おさむ絵、学研教育出版)、『ようこそ陰陽雑技団へ』(寺田直剛著、国書刊行会)、『日本操り人形史』(加納克己著、八木書房)、</p> <p>『紙芝居と(不気味なもの)たちの近代』(姜波著、青弓社)、『紙芝居がやってきた!』(鈴木常勝著、河出書房新社)、『紙芝居は楽しいぞ!』(鈴木常勝著、岩波ジュニア新書)、『ホスピタルクラウン 病院に笑いを届ける道化師』(大棟耕介著、サンクチュアリ出版局)、ジャグリング情報誌「ジャグパル」36号-39号、</p> <p>「特集・名古屋の見世物」(『見世物：見世物学会誌』4号、新宿書房)、「特集・インド大魔術」(『アートタイムズ』2号)、「落語の向うのニッポン(14)見世物小屋という異界」(『本』通号375、講談社)、「見世物小屋」(須藤功撮影『写真ものがたり：昭和の暮らし』10巻、農山漁村文化協会)、「中原中也百年祭〜サーカス小屋でコンサート」(『國文學：解釈と教材の研究』(通号756、学燈社)、「バナナだんちょうのだいサーカス」(福知伸夫作、『ちいさながくのとも』通号66、福音館)、「歴史随想：古今著聞集の「聖母と軽業師」」(本郷恵子著、『千葉史学』50号)、「興行女相撲の研究文献資料」(村山正市著、『山形民俗』21号)</p>
<p>物故 206.12/29 元秩父セメント社長・諸井虔(78)、1/3元岩波書店社長・岩波雄二郎(87)、1/5日清食品創業・安藤百福(96)、1/5美術評論家・嘉門安雄(93)、1/9演劇評論家・佐貫百合人(82)、1/30作家・シドニー・シェルダン(89)、2/6イラストレーター・渡辺和博(56)、3/6思想家・ボードリヤール(77)、3/10川柳作家・時実新子(78)、3/22作家・城山三郎(79)、5/6作家・池宮彰一郎(83)、5/11作家・三好京三(76)、5/22元経団連会長・平岩外四(92)、作家・大庭みな子(76)、5/31「日本文藝史」著者・小西甚一(91)、6/1ひとこま漫画・横山泰三(90)、6/20口承文芸・野村純一(72)、6/28元首相・宮沢喜一(87)、7/4アートフラワー・飯田深雪(103)、7/4元学習院学長・児玉幸多(97)、7/2同時通訳・西山千(95)、7/2前江戸東京博物館長・小木新造(83)、7/18元共産党議長・宮本顕治(98)、7/19ユング研究・元文化庁長官・河合隼雄(79)、7/30作家・平平連・小田実(75)、8/2作詞家・阿久悠(70)、8/8作曲家・松村禎三(78)、8/10評論家・小阪修平(60)、8/13篆刻・小林斗盞(91)、8/23作家・西村寿行(76)、8/26日本文学研究・サイデンステッカー(86)、8/27民俗学・櫻井徳太郎(90)、9/4元大本営参謀・伊藤忠会長・瀬島龍三(95)、9/14日本画家・高山辰雄(95)、10/3イタリア美術史・若桑みどり(71)、10/1ベトナムの結合双生児の兄・ベトさん(26)、10/12建築家・黒川紀章(73)、10/24イラストレーター・内藤ルネ(74)、10/28リクルート疑獄・元官房長官・藤波孝生(74)、11/8ローマ法王庁枢機卿・濱尾文郎(77)、11/10作家・ノーマン・メイラー(84)、12/2現代民俗研究・多田道太郎(83)、美容家・メイ牛山(96)、12/12元亜細亜大学長・衛藤藩吉(84)</p>	<p>物故 1/7日本舞踊・人間国宝・花柳壽楽(88)、1/10映画プロデューサー・カルロ・ポントニ(94)、1/17歌手・井沢八郎(69)、2/5漫才師・生恵幸子(83)、3/8声優・小林恭二(75)、3/14G Sモップス・鈴木ヒロミツ(60)、3/17俳優・船越英二(84)、3/27クレージーキャッツ・植木等(80)、4/27チェロ奏者・ロストロポーヴィッチ(80)、5/3漫画トリオ・元大阪府知事・横山ノック(75)、5/6俳優・北村和夫(80)、5/15漫才師・はな寛太(61)、5/17タレント・塩澤とき(79)、5/22俳優・鈴木光枝(88)、5/23映画監督・熊井啓(76)、5/23浪曲師・玉川福太郎(61)、5/23日本舞踊・花柳壽輔(72)、5/27ZARDボーカル・坂井泉水(40)、6/1俳優・石立鉄男(64)、6/8能楽師・観世栄夫(79)、6/25コメディアン・谷幹一(74)、7/3劇作家・太田吾吾(67)、7/28プロレスの神様・カール・ゴッチ(82)、7/30映画監督・イングマル・ベルイマン(89)、7/30映画監督・ミケランジェロ・アントニオーニ(94)、8/14元横綱・琴桜(66)、8/14モデル・山口小夜子(57)、8/19俳優・南風洋子(77)、8/28アカデミー賞女優・ナンシー・梅木(78)、8/12最後の紙芝居絵師・佐渡正士良(96)、9/6三大テノール・ルチアーノ・パバロッチィ(71)、9/14ピンクレディ振付・土居甫(70)、9/22パントマイム・マルセル・マルソー(84)、10/18タレント・東京五輪水泳・木原光知子(59)、10/19長唄三味線・人間国宝・松島寿三郎(86)、10/23元漫才師・似顔絵漫談・晴乃ピーチク(82)、10/31映画監督・谷口千吉(95)、11/11俳優・草薙幸二郎(78)、11/18女流義太夫・結城座長老・竹本素京(93)、11/22現代バレエ・モーリス・ベジャール(80)、12/12狂言師・野村又三郎(86)、12/20映画監督・「座頭市」・田中徳三(87)、12/23ジャズピアノ・オスカー・ピーターソン(82)、</p>